



第3回 平山台健康・市民支援センター を考える意見交換会

令和5年7月29日



本日の流れ

前半

- ・これまでの振り返り

後半

- ・今後の進め方について



これまで

1月15日 計3回実施。参加者46名

地域の歴史、施設概要、団体・施設の状況、平山地域の人口、機能・あり方など

4月23日 計2回実施。参加者38名

機能分析、利用状況、防災の位置づけ、スケジュール、今後の進め方、など

2日間計5回延べ84名の方にご参加いただきました。
継続して参加頂いている方が多い一方で、地域の若い方の参加者が少ない傾向となっています。

跡地活用に関するご意見

26件



主な意見

耐震工事を含め**施設の建替え**を行い、市民が使えるようにしてほしい。

本施設がなくなると、平山には地区のシンボルになるような施設がなくなってしまう。あらためて、**防災・健康・医療の機能を統合したシビックセンター施設**を検討してほしい。

市内を見ても他に類を見ない施設なので、建物が無くなるからといって分断させるのは好ましくないのでは。ここではすばらしい活動を行っているので、ハコものがないのは考えられない。

平山の地域の生活にとって重要な施設となっており、**機能の維持をお願いしたい**。

今回の意見交換会は理解しているが、この**施設のハード面は別として利用機能を活かしてほしい**というのが、住民の総意である。

校舎の老朽化については住民も知ってるので、中間的な考え方として、減築や、**小さい建物を建てることは出来ないのか**。

シビックセンターの建設や、建替えに関するご意見、機能の維持や、小さい建物を望む声など、地域の拠点を望む声が多くありました。

進め方に関するご意見

17件



主な意見

市の情報としては、いきなり廃止とか段階的廃止という話が我々の耳入ってきてしまう。こういう案について皆さんと話し合っていきたいというスタンスではなくいきなり**結論として突き付けられている状況**

今のスケジュールや進め方だと、計画と一緒に考えている感じではない。跡地活用は代替先の用途が立ち次第となっており、**ここをでることありきの話になっている。**

市民としては既存のものを守りたいという意見があるので、この施設を現状機能を維持する案から、この施設を閉鎖して機能を他へ代替する案まで、中間的なものも含めて、概算費用とともに、次回の検討会までに案を5, 6個持ってきてほしい。

建物を新たに建て直すのが難しいのはわかる。「建物は使用せず、機能を分散する」という**結論ありき**で話が進んでいるのでは？

財政再建の中で、再建の用途が立ったらここの跡地利用の在り方について、市として土地利用の在り方について平山台の跡地活用について新たに計画を作り出す、という**説明の仕方**を次回の検討会にしてもらえるとありがたい。

このままだと**話し合いがずっと平行線**になってしまうのでは。

建物を作らないという結論ありき、案を話し合う姿勢がない、このままだと平行線、前向きな議論となっていないなど、市の進め方を含め、ご意見を多くいただきました。

防災に関するご意見

16件

主な意見

避難所として、平山小学校が指定されているが我々のような2丁目に住んでいる80歳を過ぎた高齢者ではとても行くことはかなわない。近くに**避難場所**が必要だ。

平山小が溢れた際にどこに行けば良いのか分からない。いつ誰がどのタイミングでどこに避難すれば良いのかが分からず困る。

この施設が水害時の予備的避難所になったことは承知しているが、本来の避難所である平山小学校は、距離的に遠い・大きな道路を横断しなければならない・周辺地域に浸水の懸念がある等の問題がある。平山1・2・3丁目住民にとっては、ここに避難所があることが安心につながっている。今後の機能検討では、**避難所機能**を重視してほしい。

特に雨の日など、防災無線による市の放送が聞き取れない。高台にある為、住民はここに避難したい。**避難所としての機能を絞り込んで小さな建物を建ててほしい。**

避難所がなくなるということか？地震時に自宅に居ろということになるのか？平山小学校へ避難せよと言っても収容人員の制限もあり、平山地域は70歳以上が40%となっていることを考えれば1.2丁目の人は避難所に行けるか難しい所。**どこかに避難する施設が必要である。**



平山地域全体として、防災機能を求める声や、避難所、避難場所の位置づけなど、多くの意見がありました。

既存建物に関するご意見

7件

主な意見

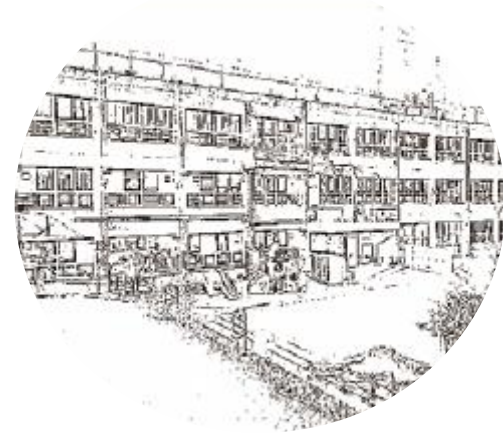
この平山台健康・市民支援センターがベストな施設で、移動が困難な高齢者にとって代替施設は考えられない。不便でも、**静かなこの場所であるからこそ良い。**

自分たちとしてはこの建物は維持し、何らかの形として残していきたいと思っているが、市側はここを解体することが前提の話になっており、見切り発車になっているのでは。**減築の可能性**など、もう少し考えて欲しい。次回の検討会までにもう少し詳細な内容で検討し、示してみてもどうか。

ここは市民の健康・スポーツ・文化の拠点となっている。**体育館だけでも残してほしい**

平山台の避難機能については**減築してでも残して欲しい。**

大規模改修が15億円かかるとうことだが、必要最小限度での改修はできないのか。**体育館のみの耐震補強は出来ないのか。**



必要最小限度での改修や、体育館のみを維持、減築や耐震補強など、既存建物に関する多くの意見がありました。

入居団体の代替場所に関するご意見

6件

主な意見

ここを活動の拠点としてきた者としては、跡地利用が決まっていない中「段階的な利用中止」という言葉が出て、**不安だけが残っている。**

障害児の福祉施設で働いています。ここは坂道で来るのは大変だが、緑が多く、運動場も広く子供の養育には最高の環境です。**令和8年に出るように言われていますが、ぜひ残してほしい。**

1～3丁目の住民有志で作る「交流の会」発足から15年になる。毎年、里芋・ジャガイモ、サツマイモ、大根を栽培し、子供たちと芋掘り会をしたり、昆虫観察会をしている。ぜひ続けられるようお願いしたい。また、東京薬科大の先生と組んで住民の認知症検査 予防について講習会を開いています。これが続けられるようお願いしたい

校庭部分が市街化調整区域で建物を建てられないとのことだが、東京都に掛け合って公園の一角としてビジターセンターを建てられないのか。その一角を**文化スポーツクラブの事務所**にしてほしい。



代替場所の目途が見えない中での活動の継続に関する不安の声が多くありました。

その他のご意見

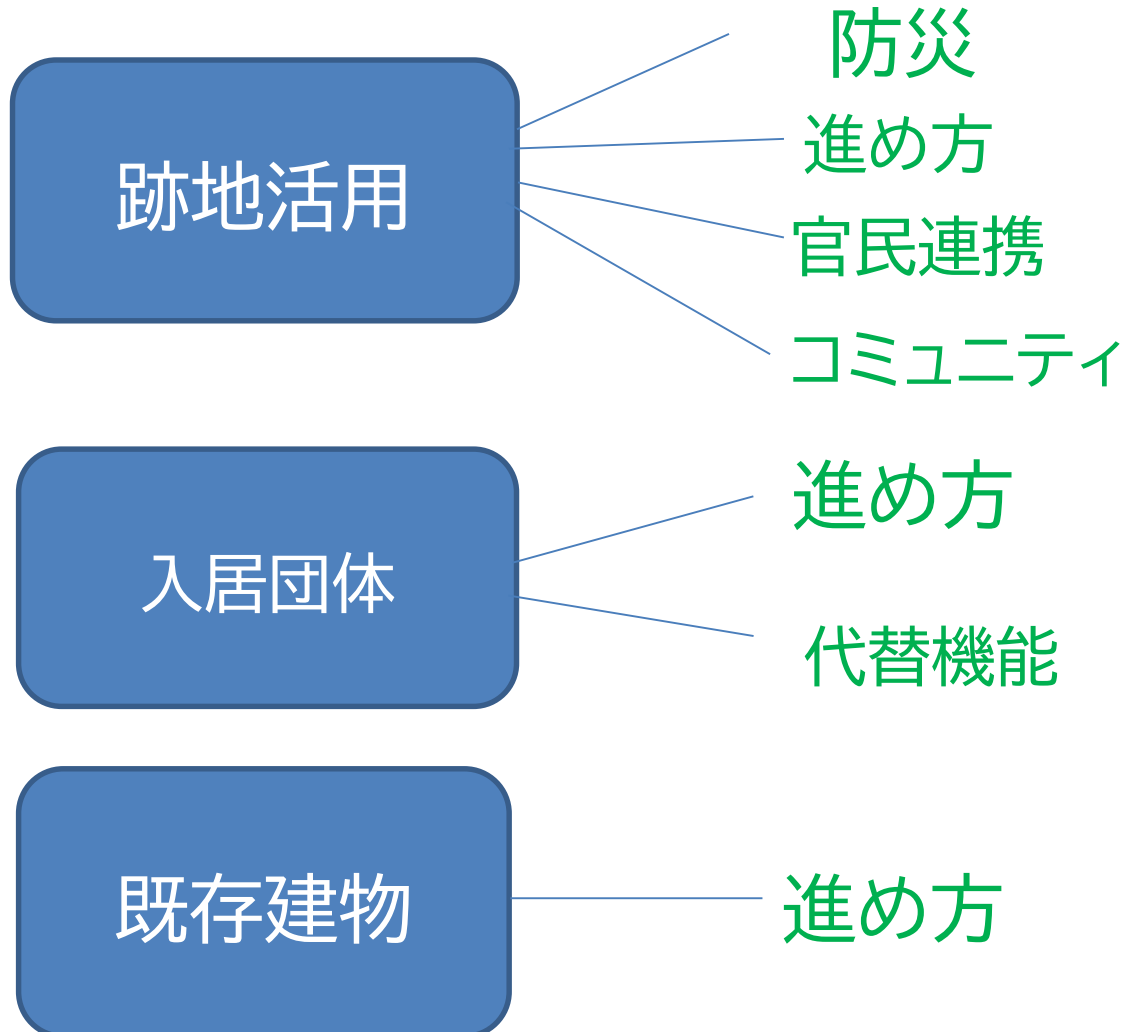


	主な意見
官民連携	金がないことを前提にするのではなく、資金調達についても、P F I の導入など、市がリードして、官民連携で、民間企業も取り込むような取り組みを考えてほしい。
地域課題	平山1-3丁目地域には木造住宅が約1700戸ほどあり、そのうち昭和56年以前に建てられた耐震基準に満たない住宅が約60%ほど、その多くが傾斜地に建っているため、大きな地震災害が起こる可能性が高い。災害避難者への対応や代替インフラの対応など山のような課題を抱え切迫した状態にある為、支援センターの計画の中にこうした地域防災への対応を含めた計画をお願いしたい。
コミュニティ	平山台地域には、他にコミュニティで活用できる施設がない。坂の上のこの場所にあるからこそコミュニティの活動に利用できている。
土地	施設のうちグラウンド部分は八王子市に所有権があるとされている。閉鎖を機に返還するのか。
代替機能	七生台地区センター（児童館）もあるが坂道で行きにくいいため、この施設を利用することが多い。ここでの活動を止めなければなくなることが懸念されるので、代替案（空き家の利用等）を示してもらいたい。
法令	建築基準法や都市計画法には例外規定があるのでは。

資金調達における P F I 手法、地域課題、コミュニティ活動、土地利用など、幅広い意見を頂きました。



頂いたご意見を分類すると..





これまでの振り返り

跡地活用

防災
進め方
官民連携
コミュニティ



- ・跡地活用を考えるにあたり、前提として、土地は日野市のものです。売却等の予定はございません。
- ・跡地活用については、何も決まっていないのが現状です。（建物を建てるとも建てないとも決まっておりません。）
- ・跡地活用については、進め方も含め、平山地域の課題などを踏まえながら、地域の皆様と一緒に考えていきます。

入居団体

進め方
代替機能



- ・これからも引き続き、入居団体と代替場所について、検討を進めてまいります。

既存建物

進め方



- ・旧耐震施設であり、躯体、設備ともに、老朽化が著しく安全確保が困難な建物となっています。
- ・耐震改修等には多額の費用がかかります。



本日の流れ

前半

- ・これまでの振り返り

後半

- ・今後の進め方について



「進め方」に関するご意見を参考に

主な意見

ここの敷地が残るのはありがたい。この土地をどう使うかを皆で協議して決めていくということは理解した。その場合、マイルストーンを決めて、ある期限までに必ずこれを決める。決めたら必ず実行していくというようにしてほしい。ズルズルと延ばすのはやめてほしい。令和10年の期限を守ってほしい

市の方で今後の青写真を作っているのか。閉鎖後の状況が現状より良ければ誰も文句を言わない。理想を作るのであれば市民と一緒に作っていくべきではないのか。この会についても、一度予算等を考えずに一緒に理想を作っていく必要があるのでは。高齢者を活性化していくべきなのに、なぜ高齢福祉課が来ていないのか。

建物について市の案を検討していただきたい。

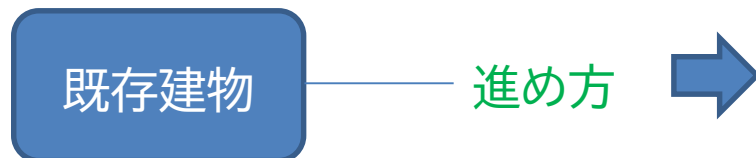
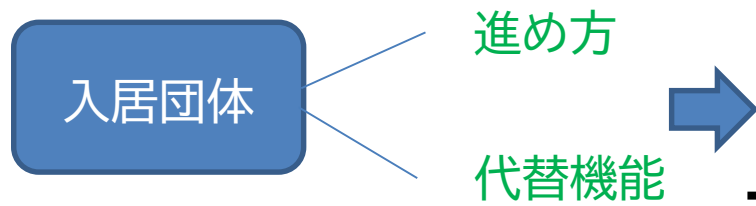
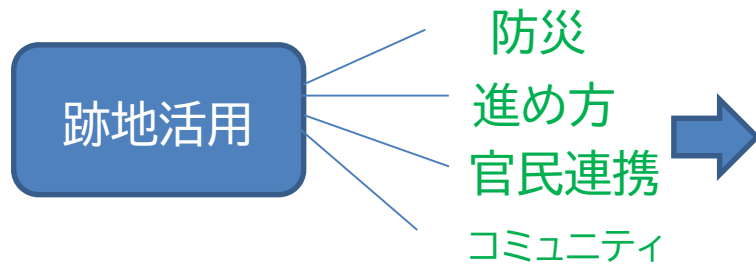
例えば〇〇の用途施設が欲しいという意見があった場合、〇〇の用途は他の建物で担えるかも知れない。平山2丁目ならその地域内の空き家を活用できないか？そういうところを洗い出して展開していくことも考えたい。市が一方向的に決めるのではなく皆さんとどうしていくべきかを考えなければならない。

これから計画に持っていく為の話の方向性があってほしい。第1回の「住民からの「意見」をまとめながら次に進められると良い。そうしたプランニングの中に我々市民からの活動要望を組み込んでいけるようにしてほしい。

この説明会に参加していない地域の若い世代の方は、この場所が閉鎖することすら知らない。もっと若い世代を取り込んでほしい。



今後の進め方



スケジュール

令和4年度 (令和5年)			令和6年度												令和7年度												令和8年度												令和9年度												令和10年度											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												

次回は、10月～11月頃を予定しています。



参考資料『京王平山の未来を語る会～日野リビングラボ～』

京王平山住宅の未来を語る会 ～日野リビングラボ～ 参加者募集

住みやすく魅力的なまちであり続けるために、皆さんのアイデアでこれからの平山住宅と一緒に描きませんか？

【テーマ】主役は誰？ 10年後の平山住宅

【場 所】日野市平山交流センター(地図は裏面)

【日にち・内容】

<第1回> 6月3日(土) 13:30～16:30 <集会室2>

★まちの良いところ、課題を見つけよう

まちを歩いて、まちの特徴や課題を共有しましょう！

※参考：日野市HP

<第2回> 6月17日(土) 13:30～15:30 <集会室2>

★未来のまちをイメージしてみよう

住みたい！！と思う街は？ アイデアを共有しましょう！

<第3回> 7月1日(土) 9:30～11:30 <集会室2>

★まちが魅力的になるアイデアを出してみよう

具体的な施策を検討してみましょう！どのようにまちの魅力は向上できますか？

<第4回> 7月15日(土) 9:30～11:30 <集会室3>

★発表会&まとめ

なりたい姿から生み出した施策を発表しましょう！



※ご年齢に関わらず、どなた様でもご参加いただけます。
※事前申込制ですが、当日直接のご参加も歓迎です。
※当日参加の場合、会場の都合でご入場いただけない場合がございます。

<主催> **KEIO** <協力> **日野市**

お申込みは
こちらから→

QRコード

【日野リビングラボとは？】

「地域での暮らしから次世代のサービスを生み出す場を共に創ろう！」をテーマに、さまざまな日頃の生活で感じる困りごとを、市民や企業、地域団体、行政などが協力して解決策を考える対話の場です。
所属や立場ではなく、「私」を起点にどんなニーズがあるのか、行動できるのかを参加者同士で学びあい、発見していきます。

<日野市ホームページより>

【本リビングラボの目指すイメージ】

まちにかかわる関係者は三位一体です。
それぞれが主体的に取り組めることを整理し「はじめの1歩」の気付きを得ることを目的としています。



京王平山住宅について

浅川の流れを見下ろす広大な敷地約50ヘクタールに広がる緑多い住宅地です。世帯数は約1,300世帯、大型分譲地の名にふさわしいビックコミュニティが形成されています。

造成は1968年に着手され、第1期分譲は1973年6月に開始されました。住宅地内には5ヶ所の公園や市立ひらやま児童館などの公共施設も設けられています。

2002年には京王堀之内駅方面への道路も開通し、多摩ニュータウン方面へのアクセスも非常に便利になりました。

さらに2006年6月にも新築住宅16邸も分譲され「京王平山住宅地」は皆様と共に成長を続けています。
(京王不動産HPより抜粋)



【会場アクセス】

施設名：日野市平山交流センター
住所：〒191-0043 日野市平山5-18-2
(京王線：平山城址公園駅より徒歩1分)



【注意事項】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、中止または延期する可能性があります。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良等の症状のある方の入場はご遠慮ください。

交通・インフラ

理想のまち	現状とのギャップ	解決策
より使いやすいルート・本数のバス（ミニバス）	・ 1 時間に 1 本（もっと本数があれば使うと思う） ・ ルートが一方通行で荷物を持った買物帰りにとても時間がかかる	・ ミニバスの他の系統と接続出来れば便利になる。特に高幡系統との接続が出来れば
バスに変わる交通手段	・ ネットスーパーは利用する気になれない ・ 以前、購入した際に知らないうちに有料会員に加入していたので怖いイメージがある ・ 京王百貨店のネットスーパーは店舗で買うよりお得だった	・ コーディネーターが必要 ・ 便利でお得な買い方を伝える
バスを借りてスーパー巡り（買い物バス）	・ 高齢者施設が独自にバスを用意して実施している ・ スーパーの方がバスを用意している例も時間に制約があるので、利用者は少ない気がする	難しい（解決策無し）
ベンチの増設	・ おくやま公園や階段付近にあれば ・ まちづくり協議会でも出たが道路上は難しい	・ 元ゴミ集積場所を活用 ・ 公園の入口付近に設置 ・ 日よけの屋根があればなお良い
地域の乗り合い交通がある	・ バスの便数、停留所が少ない ・ バスで目的地まで時間がかかりすぎる ・ 玄関から停留所に行くまで遠い	・ 近所での乗り合い ・ 地域内交通（家からバス停までの移動手段の確保） ・ ゴルフカートの活用

住環境・街並み

理想のまち	現状とのギャップ	解決策
塀の修理費の補助があるまち	・大阪での地震によるブロック塀の倒壊が問題になり、現在は30万円の補助金ができるが、到底足りない金額 ・特に1～3丁目は石垣の上にブロック塀があって危険 ・鉄筋が入っていないブロック塀もあるので、尚更怖い。 ・自分の家のブロック塀に鉄筋が入っているか不明	・最低でも100万円くらいは欲しい
清掃をイベント化できれば（清掃後、全世代が楽しめるイベントを開催）		
若い人たちにも魅力のあるまち	・自然環境が良く、住居の敷地も広いので、移り住んできた若い人からの評判は悪くないが、その良さを十分発信出来ているとは言えない。	・ライフスタイルの提案（在宅仕事やテレワークをしても苦にならないようなアピール） ・家が広くて何が良いのか、どのように住環境が良いのか、具体的に発信して地域の価値を高める ・住居の敷地が広いので、シェアオフィスとしての活用も提案



交流・文化

理想のまち	現状とのギャップ	解決策
イベントを定期的に開催	・賛成派と反対派で別れる ・若い世代は忙しいし、他にコミュニティがあり、そちらを優先 ・誰がやるか（旗振り役） ・コロナも多少影響継続	・行ってみたいと思わせる起爆剤的なイベントが必要 ・とりあえずやってみる ・旗振り役は自治会なのか。自治会以外でやるのか。
学童等以外に地域で預かる場所 （子育てしやすいまちをアピール）	・「困っている」という声は聞かない ・子育てに関する要素は預ける場所だけでない ・突出した付加価値がない ・流山は極端だが良い例	・既に環境が整っているなら、市にもアピールしてもらう（以前は図書館が多い事をPRしていた） ・市から提供
空き家を活用し高齢者が子供に勉強や遊びを提供 空き家で喫茶店や駄菓子屋	・空き家の情報が得られず、使える空き家が不明 ・空き家の活用方をコーディネートする人が必要	・空き家情報の提供を求める ・コーディネーターを探して、需要と共有を探る
高齢者が参加できるフリースペース	・もっと「ソレイユ」のようなサロンが近くにあれば行ける（平山は坂道が多いので、より狭いエリアをカバーするようにあれば） ・プライバシーが分かりすぎてしまうのが嫌な方もいる	・ふれあいサロンの数を増やしてもらう ・高齢者も参加出来る起爆剤になるようなものが欲しい ・旗振り役が必要
ゆるく繋がるネットワークがある	・高齢世代、子育て世代等世代間の交流がとぎれている（以前は同世代の世帯が多かった） ・ネットワークはあるが、メンバーに限りがあり、そこに参加できていない人（参加したがる人）もいる	
人々のふれあう場所がある	・人がふれあう場所はあるが、生活動線上でふれあう場所がない（たまたま会って話す機会がない）	
子どもの声が聞こえる（子育てしやすい）	・3丁目周辺は、ここ3、4年ほどで子どもの声が聞こえるようになった（2丁目は減っている？）	・住民の世代交代を待つ。

環境・自然

理想のまち	現状とのギャップ	解決策
今の自然環境を維持していく	・ 1丁目のさかい公園や、2丁目のおくやま公園は手入れがされていない（市でもやっているのか不明） ・ 平山城址公園も、東京都の管理しているエリアと日野市が管理しているエリアとでは手入れに違いがある ・ 道路の草も伸びてしまっている場所がある ・ すべて行政任せではなく、自分達で出来る事はやっていかないと維持は難しい	・ 公園の整備をしてもらうように日野市に要望する ・ 個人と市の境界が不明な箇所もあるが、自分達の住んでいる場所の事として、ボランティアで清掃するとか意識を高めていく事も必要
良い環境をアピールできれば、中間層の転入も期待できる	・ 不動産屋があまりアピールしていない。具体的に良い所をもっとアピールすべき ・ 一方で、アピールし過ぎると、人が来過ぎてしまうのも問題	・ 積極的にアピールする
ハイキングコースの作成	平山城址公園から長沼公園までのハイキングコースがない（途中で私有地あるため）	・ 子供の地域の学びの場、大人の手軽な自然観察の場とするとともに、域外からも人が呼べるような手軽な観光資源としてのハイキングコースを作成する